

平成19年度長崎県大学図書館協議会総会議事要旨

1. 日 時： 平成19年6月21日（木）15：00～17：20

2. 場 所： 長崎純心大学 コミュニケーションセンター

3. 出席館： 11館（18名）

長崎県立大学（永松）、県立シーボルト大学（河野・吉村）、長崎総合科学大学（伴）、活水女子大学（森）、長崎純心大学（岩下・岩崎・熊野）、長崎国際大学（平井・飯島）、長崎外国語大学・短期大学（岡村）、長崎ウエスレヤン大学（植松）、長崎玉成短期大学（大浦）、佐世保工業高等専門学校（牧野・時田）、長崎大学（柴多・郷原・下田）

オブザーバー：長崎県公共図書館等協議会（長崎県立長崎図書館：奥山・中尾・浜口）

欠席館：長崎女子短期大学、長崎短期大学

4. 配布資料： 総会資料等

議事に先立ち、会場館である長崎純心大学の岩崎室長から、長崎短期大学が出席することになっていたが、今朝急遽欠席との連絡が入り、審議と議決に関しては長崎国際大学に委任するとの報告があった。本日は11館出席で総会は成立するというので、開会宣言があり、続いて、同大学の岩下所長から、さらに、代表幹事館である長崎大学附属図書館の柴多館長から挨拶があった。

また、岩崎室長より、オブザーバーとして長崎県公共図書館等協議会から3名が出席されていることが報告された。

出席者自己紹介の後、慣例により会場館の岩下所長が議長に選出された。

5. 議 事

(1) 平成18年度事業報告について（資料1）

(2) 平成18年度決算報告・監査報告について（資料2）

資料1および資料2について、事務局担当（長崎大学下田班長）より説明があり、一括して審議がなされた。

監査館であるシーボルト大学（吉村課長）の監査報告とともに承認された。

(3) 平成19年度事業計画（案）について（資料3）

事務局担当（長崎大学下田班長）から、資料3について説明があった。

審議の結果、原案どおり承認された。

(4) 平成20年度九州地区大学図書館協議会総会等の開催（案）について

事務局担当（長崎大学下田班長）から、資料4について説明があった。

長崎大学柴多館長より国公立大学と私立大学の情報交換を兼ね、懇親会は合同で行えないかという意見が出た。私立大学当番校の活水女子大学森課長より、私立大学図書館協会西地区部会九州地区協議会及び九州地区私立短期大学図書館協議会主催の懇親会でもあり、関係者と相談の上、計画した。これまでの開催経過や事情、私立大学、特に私立短期大学と国立大学・公立大学との規模の違い等により今回は私立大学と私立短期大学は合同で懇親会を行いたいとの答えがあった。

審議の結果、原案どおり承認された。懇親会の国立大学・公立大学と私立大学・私立短期大学の合同開催は今後(平成21年度総会以降)の検討課題とする。

(5) 平成19年度予算(案)について(資料5)

事務局担当(長崎大学下田班長)から、資料5について説明があった。

支出の部でコンテンツ更新経費について必要なか質問があった。外部委託のため支出が生じるので必要との回答であった。

審議の結果、原案どおり承認された。

(6) 総会当番校の順番について(資料6)

事務局担当(長崎大学下田班長)より、資料6にもとづいて、ローテーションの説明があり、来年度の総会会場は長崎国際大学になるとの説明があった。同大学の平井館長に確認したところ了承されたので、平成20年度の総会会場は長崎国際大学に決定。

(7) 研修企画委員の改選について(資料7)

事務局担当(長崎大学下田班長)から、資料7について説明があった。

原案どおり承認された。ただし、長崎大学は7月に人事異動があるため、変更の可能性はある。変更の場合は直ちに連絡する。

<休憩 4:10~4:20>

6. 報告事項

(1) 日本図書館協会評議員会について

活水女子大学の森課長より、配布資料に基づき報告があった。

(2) 各館の当面する諸問題について

各館から以下のとおり報告があった。

長崎県立大学： 図書館の利用者数の減少。

シーボルト大学： 学生のマナーの低下。また、新聞や本を読まなくなった。

長崎総科大学： 定員割れによる図書館予算の削減。

活水女子大学： イベントやコンテストの開催をして学生の利用推進を図っている。学内滞在型図書館を目指す。

長崎国際大学： 学内での財政面の厳しさはあるが、図書館予算の削減は無い。まだ新しい大学なので蔵書の増加を図りたい。しかし、電子ジャーナルの値上げなどに苦慮。

長崎外国語大： 利用者サービスなどソフト面での充実、外国語大学としての特色ある図書館作りを目指したい。予算的な制約があるので外部資金の調達を図りたい。

長崎ウエスレヤン大： ソフト面での充実に力を入れている。図書館紹介ビデオを学生の協力のもと、作成している。今年は4本目となる。オリエンテーション時に上映しているが、学生の反応は良。現在問題となっているのは留学生の利用者が、館内のLANを使いIP電話を使用していること。

長崎玉成短大： 併設の専門学校の図書室のとの連携を模索中。

佐世保高専： 利用者を増やす方策を考えている。その一環として図書選書ツアーとして福岡紀伊国屋書店へのツアーを募集。しかし思ったより参加者が少ない。

長崎大学： 利用者数が減少しているが、放送大との合築棟にパソコン約50台を設置したメディアルームとグループ学習が行えるライブラリーラウンジの2室を新たにオープンしたことで学生の増加が見込まれる。また、学生利用増を図るため新入生向けに図書館利用ガイダンスを4月～5月にかけて実施し、約1600名の受講があった。

長崎純心大学： 館内にコンピュータールームを設置した。

県立図書館： 市立図書館のオープンを間近に控え、市立と県立との兼ね合いが問題。あらためて、県立図書館の存在意義が問われている。物理的な問題としては収蔵庫スペースが限界に来ている。

(3) その他

①次回会場校 長崎国際大学より挨拶

②活水大学より活水文学賞のお知らせ

③長崎県立図書館より大学図書館との連携について

- ・今後、生涯学習のサポートなどから大学図書館との連携を一層強めていきたい。
- ・各大学図書館と県立図書館との相互協力をより活性化し、また業務を簡略化するためインターネット上で申込を受け付けたい。各大学にIDとパスワードを発行するので利用してほしい。(各大学へ資料配布)
- ・長崎総合科学大学より、県立図書館側から大学図書館に所蔵調査等の問合せは現在電話のことが多いが、できればファクスで連絡してほしいとの要望があった。

なお、閉会后、希望者のみ会場館である長崎純心大学の図書館を見学した。